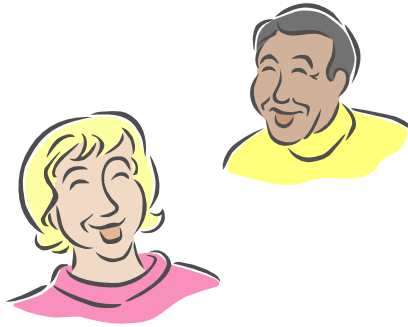


13-1 新しいかん字 (童・幸・福・央・横・宮)



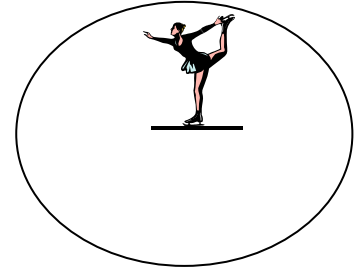
童話

どう わ  
cuento / historia



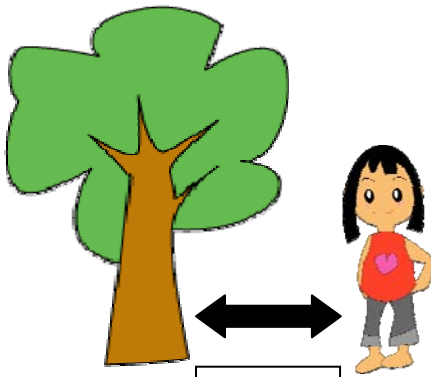
幸福

こう ふく  
felicidad



中央

ちゅう おう  
centro



横

よこ  
lado / al lado



王宮

おう きゅう  
palacio





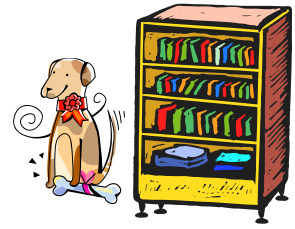
13-3 書けるかな？ (童・幸・福・央・横・宮)

	一	十	土	土	土	土	音	音	音	童	童	童
童	童	童										
	一	十	土	土	土	土	幸	幸				
幸	幸	幸										
	福	福	福	福	福	福	福	福	福	福	福	福
福	福	福										
	央	央	央	央	央							
央	央	央										
	横	横	横	横	横	横	横	横	横	横	横	横
横	横	横										
	宮	宮	宮	宮	宮	宮	宮	宮	宮	宮		
宮	宮	宮										

13-4 読んでみよう! 書いてみよう! (童・幸・福・央・横・宮)

● ( ) の中に ひらがなで かん字の 読みかたを 書いて ください。

① 本箱の <sup>ばこ</sup>横 ( ) に 犬が います。



② 王宮 ( ) には、  
王さまが すんで います。



③ おかし、幸福 ( ) な王子さまが いました。

④ お母さんは、ねる 前に 童話 ( )  
を 読んで くれます。



⑤ 公園の 中央 ( ) に ふん水が あります。

ふん水 : fuente (de agua)



● □ に かん字を 書いて ください

① <sup>どう</sup> <sup>わ</sup>  
□ □ を 読みます。



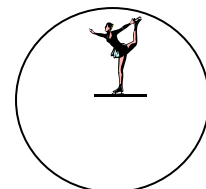
② <sup>おう</sup> <sup>きゅう</sup> に <sup>こう</sup> <sup>ふく</sup> <sup>おうじ</sup>  
□ □ な王子が いました。



③ <sup>よこ</sup>  
□ □ の ながさを はかります。



④ リングの <sup>ちゅう</sup> <sup>おう</sup>  
□ □ を すべります。



## 13-5 つぎの 童話を 読みましょう。(童・幸・福・央・横・宮)

## ● つぎの 童話を 読みましょう。



幸福な <sup>おうじ</sup>王子 王子 : príncipe

あるところに、うつくしい王子がいました。でも、王子は病気になるてしにました。町の人たちは、<sup>ひろば</sup>広場の中央に「幸福な王子」のどうぞうをたてました。王子のどうぞうは、体は<sup>きん</sup>金色でした。目は、<sup>せき</sup>ほう石でした。 ほう石 : joya / piedra preciosa 金 : ouro

つばめがとんできて、王子のどうぞうのかたととまりました。王子は、ないていました。つばめは、びっくりしました。王子は、言いました。「王宮にいたときは、幸福でした。でも、王宮の外のことには知りませんでした。でも、今ここから王宮の外を見ると、かわいそうな人がたくさんいます。わたしの目に入っているほう石と、わたしの体の金をかわいそうな人たちにあげてください。わたしは、どうなっても、いいのです。」

つばめは、王子の体の<sup>せき</sup>ほう石と<sup>きん</sup>金を苦しんでいる人のところへもっていきました。たくさんの人をたすけることができました。

そして、その後つばめは、寒さのため、しんでしまいました。王子は、目がなくなり、体もきたなくなりました。町の人たちは、どうぞうがきたなくなつたので、すてることにしました。

王子の体と、王子の足の近くでしんでいたつばめの体を火でやきました。でも、王子の<sup>しん</sup>心ぞうと、つばめの体は、どうしてももえませんでした。 心ぞう : corazón

神さまは、王子の心ぞうと、つばめの体を、<sup>てんごく</sup>天国に持って行きました。 神さま : Dios 天国 : cielo / paraíso

オスカー・ワイルド「幸福な王子」より